

『創立 150 周年を迎えた桜谷小学校で学んだこと』

桜谷小学校 6 年 秋元 駿佑

僕が学ぶ桜谷小学校は、明治 7 年に創立し、今年で 150 周年を迎えました。150 年という長い歴史の中で、79 年前には戦争もありました。50 年前には 200 名を超えた児童数も、今では 78 名です。

以前に比べれば、少人数ですが、僕達は 1 年生から 6 年生まで、みんなの名前を覚えていて、仲良く学校生活を送っています。

そんな今年、僕には忘れられない思い出となった出来事がありました。それは運動会です。僕たちの学校の運動会は、全校児童が、赤・黄・青の 3 色に分かれて競い合います。

僕は、これまでの上級生がリーダーとして、下級生に最後までやさしく、ていねいに教えてくれた事がはげみとなって、僕も先輩達のようなリーダーになりたいという強い思いで運動会にのぞみました。

応援合戦の練習では、これまでにないものにしたいと、アイデア作りには特に苦心しました。今年の 6 年生は全員で 11 名。しかも、ぼくの青組に 6 年生は 3 名しかいません。最初は、自分の思いがなかなか形にならず、くじけそうになりました。赤組と黄組の進み具合を耳にしたり、着々と仕上げていくのを目にしたるたびに焦りました。限られた時間で組をまとめていけるのかと心配にもなりました。

練習を始めても話を聞かず走り回る人、集合時間に遅れる人、集合しない人など様々でした。そこで、ぼくは、いろいろ悩んだ末、話を聞いてくれない人には 1 対 1 で話をすることに努めました。すると、少しずつですが話を聞いてくれるようになりました。集合時間に遅れる人、集合しない人には、たくさん練習の機会を設け、他の組以上に練習することにしました。

すると意識の薄かった下級生にも「他の色に勝とう」、「優勝しよう」という気持ちが芽生え、次第に組はまとまり、1 つとなってきました。応援合戦以外の組対抗リレーや綱引きなどの練習の時もみんな真剣に話を聞いてくれるようになりました。その結果、これまで練習で一度も勝ったことのなかった綱引きでも他の組と互角に戦えるようになり、本番でもその成果を発揮することができました。

そして、運動会当日。閉会式の結果発表で「応援合戦の部、優勝は青組」という声を聞いた時、僕は、思わずこぶしを突き上げ、そして、空を見上げた目から涙がこぼれてきました。

さらに、運動会が終わった後に思いがけないことがありました。それは、青組のみんなからのメッセージカードです。青組全員からのたくさんの「ありがとう」

の言葉が寄せ書きされていました。これまでの様々な思いが一瞬で解け、「がんばってよかった。みんなありがとう。」という気持ちになりました。

桜谷小学校での6年間、学べてよかったと思う出来事でした。

運動会のほかにも、仲間と楽しめる場所がたくさんあります。

自慢の裏山には、地域の皆さんからのたくさんの寄付で作っていただいた立派な滑り台やアスレチックがあり、いろいろな遊びができます。「ふれあいの池」というビオトープもあっていつもいきものとふれあうことができます。

さらに、運動会だけでなく、1年を通して様々な活動があります。

春には、学校横の田んぼで、田植え。畑で芋植え。秋に稲刈りや芋掘り。冬には、しいたけの菌打ち、餅つき大会、昔遊びなど楽しい体験活動がたくさんあります。それらは、ほっとけん桜谷隊さんや地域の方々に教えていただきながらやっています。

また、地域の方には、僕たちが気持ちよく遊んだり、運動したりできるように運動場やうら山を整備してくださっています。運動会前には地域を挙げて草抜きや裏山の草刈りや整備などをしてくださるおかげで僕たちはいつも楽しく安全に学校生活を送れています。

ふりかえれば、心から良かったと思える運動会となったのは、僕だけの力ではありません。応援合戦の内容を決めるときに困っていた僕を、クラスの友達や先生がアドバイスしてくれました。両親は、僕の話聞いて余裕と笑顔を与えてくれました。

地域の人は暑い中、運動場の草むしりをして、環境を整えてくださいました。

僕は、バスケットボールを習っているのですが、そこでも同じです。疲れているときやミスをして落ち込んでいるときにはげましてくれる親やチームのみんな。生きていく上での人間性を教えていただいているコーチの方々。

厳しい練習やきつい試合の後に桜谷小学校のクラスメイトと話すと、安心して余裕ができます。話すだけで安心するのは、やはり普段から一緒に勉強したり、遊んだりしている仲だからだと思います。ぼくは、このような支えがあり、今があると思っています。

桜谷小学校は、児童数は少なくても、かけがえのない友達と友情を作る事ができる場所です。

僕はこの桜谷小学校、そして桜谷が大好きです。僕はもうすぐ、この学校を巣立ちますが、卒業しても、「好きです、桜谷」と自信を持って言いたいです。